

内閣総理大臣杯争奪
第42回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2014年5月18日 10時00分開始

準決勝

東京体育館 D - 6

◎
千葉ホークス
(関東)

60

25 1クォーター 5
8 2クォーター 20
7 3クォーター 10
20 4クォーター 17

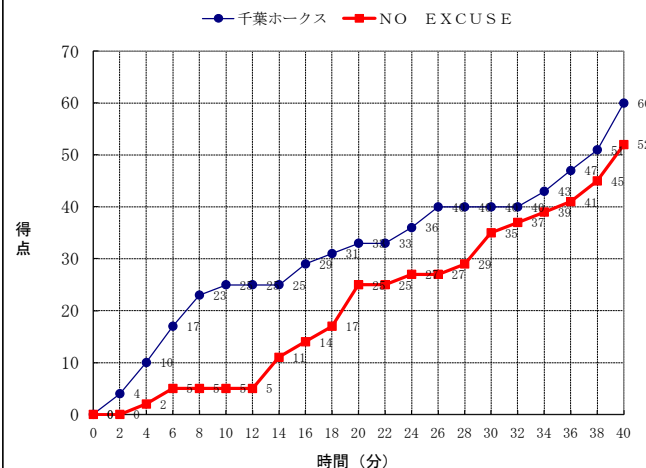
52 NO EXCUSE

(東京)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	清水 健悟 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	* 4	安 直樹 (4)	27	2	10	1	-	-	4
5	宇埜 雄太 (1)	-	-	-	-	-	-	-	* 5	佐藤 大輔 (2)	0	0	0	0	-	-	4
6	中島 憲吾 (2)	-	-	-	-	-	-	-	6	石井 康二 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-
7	田中 恒一 (3)	0	0	0	0	-	-	0	7	寺田 正晴 (3)	2	0	1	0	-	-	4
8	坂井 大 (2)	-	-	-	-	-	-	-	8	大嶋 義昭 (1)	0	0	0	0	-	-	3
* 9	植木 隆人 (2)	10	0	5	0	-	-	3	9	大曾根 佳太 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 10	千脇 貢 (2.5)	21	0	8	5	-	-	3	10	菊池 隆朗 (1)	-	-	-	-	-	-	-
11	太田 空 (3)	0	0	0	0	-	-	0	* 11	森 紀之 (1.5)	10	0	5	0	-	-	3
12	久世 征士 (2)	-	-	-	-	-	-	-	* 12	菅澤 隆雄 (4.5)	13	0	6	1	-	-	2
* 13	下村 浩之 (1)	2	0	1	0	-	-	1	* 13	湯浅 剛 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0
* 14	山口 健二 (4.5)	5	0	2	1	-	-	0	14	田中 聖一 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 15	土子 大輔 (4)	20	0	9	2	-	-	4	15	村上 聖一 (2)	0	0	0	0	-	-	0
16	伊東 容臣 (4)	2	0	1	0	-	-	1	16	村上 慶太 (1)	-	-	-	-	-	-	-
									18	西岡 尚輝 (1)	-	-	-	-	-	-	-
									19	八木沼 辰弥 (3)	-	-	-	-	-	-	-
HC	杉山 浩								HC	及川 晋平							
AC	猪田 博敏								AC	中井 健豪							
マネージャー	左東 摩子								マネージャー	杉山 美穂							
マネージャー	鈴木 希美代								マネージャー	相川 恵里							
マネージャー	篠田 愛								マネージャー	永山 彩夢							
トレーナー	眞田 崇								トレーナー	山下 正信							
合計		60	0	26	8	0	0	12	合計		52	2	22	2	0	0	20

主審：菅野 英輔
副審：齋藤 登
副審：金川 光一

得点経過



〔戦評〕

1Q
ジャンプボールはホークスのNo. 15, NO-EXのNo. 4でホークスボールで始まる。ホークスのNo. 14 が先制点を決める。ホークスNo. 15 の三本連続シュートを始め、得点を重ねていく。NO-EXのNo. 11 がシュートを決め返すが、ホークスの早めの攻撃で得点差を広げる。ホークスの堅いディフェンスでNO-EXの攻撃が単調になり得点差はさらに広がる。25-5の大量得点差で1Qが終わる。

2Q
NO-EXのスローインから始まる。NO-EX No. 4 のオフェンスファール、NO-EX No. 8 のプッシュと立て続けにファールがあるが、ホークスの連続シュートが外れリバウンドを取るが点が決め切れず、お互いの激しい攻防があり開始から2分お互いに得点を取れずその後、NO-EX No. 4 のシュートが決まり、その後、NO-EX No. 4の連続シュートが決まる。その間、ホークスは点が取れずこのままNO-EXに流れがいく。開始3分30秒、ホークスのNo. 15のシュートが決まり、反撃開始かと思いきやNO-EX No. 4がシュートを決め、またNO-EXの3Pが決まりさらに点差を縮める。ホークスの攻めが単調となり得点が増えず、NO-EXが点差を縮め、33-25で前半を終わる。

3Q
ホークスのスローインから始まる。お互い攻めきれず、開始2分30秒ホークスのシュートでゲームが動くがNO-EXも一歩の譲らず、お互い得点を重ねる。ゲームの中盤からホークスの連続シュートが決まり出し少し点差が開き出したが、3Q後半、ホークスのシュートがリングに嫌われ得点が伸びず、反対にNO-EXは、No. 4を中心とした速い展開でのシュートが決まり出し得点差を縮め、40-35と5点差で終了。

4Q
開始早々、NO-EX No. 4 のシュートが決まり3点差となる。4Qに入り、NO-EXのリバウンドが良くなり自陣でのオフェンスが続くが得点とならず、ホークスの反撃でシュートを決められ再度5点差。ここでNO-EXタイムアウト。タイムアウト後、NO-EXのシュートが決まり3点差に戻る。NO-EX・ホークスの一進一退の攻撃が続く得点差が縮まらない時間が続く。NO-EX No. 4 のインサイドへのパスが通り得点するも点差は縮めきれない。残り11秒でホークスがタイムアウト。NO-EXファールでホークスがフリースローを決め、NO-EXの攻撃をかわし、60-52でゲームセット。

(担当：松田/井口/高橋)